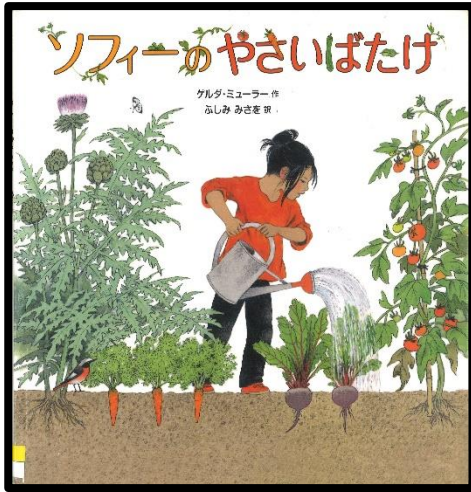


ソフィーのやさいばたけ



ゲルダ・ミュラー/作
ふしみ みさを/訳
BL 出版〔エ〕

ソフィーは、夏休みにいなかのおじいちゃんとおばあちゃんの家ですごすことになります。広い畑でやさいをつくるふたりから、小さな畑をもらったソフィーはすきなやさいを育てます。

はたけのおてつだいをするなかで、いろんなできごとがあったソフィーは、今まで知らなかったやさいのことを知るようになります。

ソフィーがすごした畑の一年が描かれています。

じてんしゃののれるかな



ひらた りしゆき/作
あかね書房〔エ〕

空が青くてきもちいい日は、サイクリングにさいこうな日です。でも、ぼくは、じてんしゃにのれません。いつもおとうさんと、じてんしゃにのるれんしゅうをするけど、なかなかうまくのれない。

このあいだは、ころんで、ひざをすりむいて、ちょっとこわいと思っています。するととつぜん「へいき、へいき」と、だれかの声がします。

じてんしゃにのるれんしゅう中の人に読んでもらいたい本です。

ほし

星どろぼう



アンドレア・ディノト/ぶん

アーノルド・ローベル/え

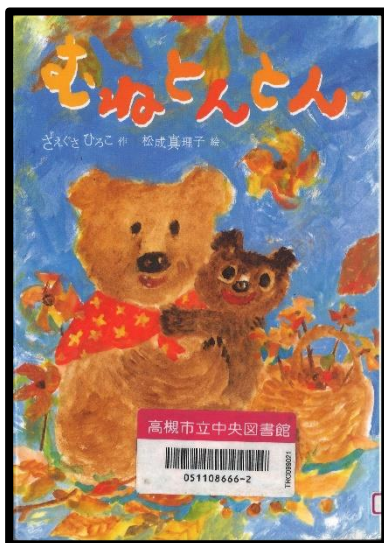
やぎた よしこ/やく

ほるぷ出版〔エ〕

むかし、ひとりのどろぼうが星をひとりじめしたいと思^{おも}い、はしごをかけて空にのぼっていきました。かがやく星に手をのばし、つぎつぎにと取ると、たるに入れてちかしつにかくしてしまいました。

つぎの日、よぞらに星が一つもないことにきづいた村人たちは、びっくりぎょうてん。星をぬすんだはん^{おな}にんをつかまえようと、あるさくせんをたてます。

むねとんとん



さえぐさ ひろこ/作

まつなり まりこ
松成 真理子/絵

小峰書店〔913サエ〕

ひとりぐらしをしていたくま^{くま}くんのおばあちゃん。としをとったので、くま^{くま}んたちといっしょにくらすことになりました。かざぐるまの作りかたをおしえてもらって、いっしょにたのしくあそぶくま^{くま}くん。ある日、さんぽから帰ろうとしたおばあちゃんは、家に帰る道がわからなくなってしまう。

とまどいながらも、おばあちゃん^{おばあちゃん}のふあんな心によりそっていこうとする、くま^{くま}くんのやさしいきもちがむねをうつお話^{はなし}です。